

## 「小平市子ども・若者計画」の基本的な考え方

### 1 計画策定の背景と目的 (略)

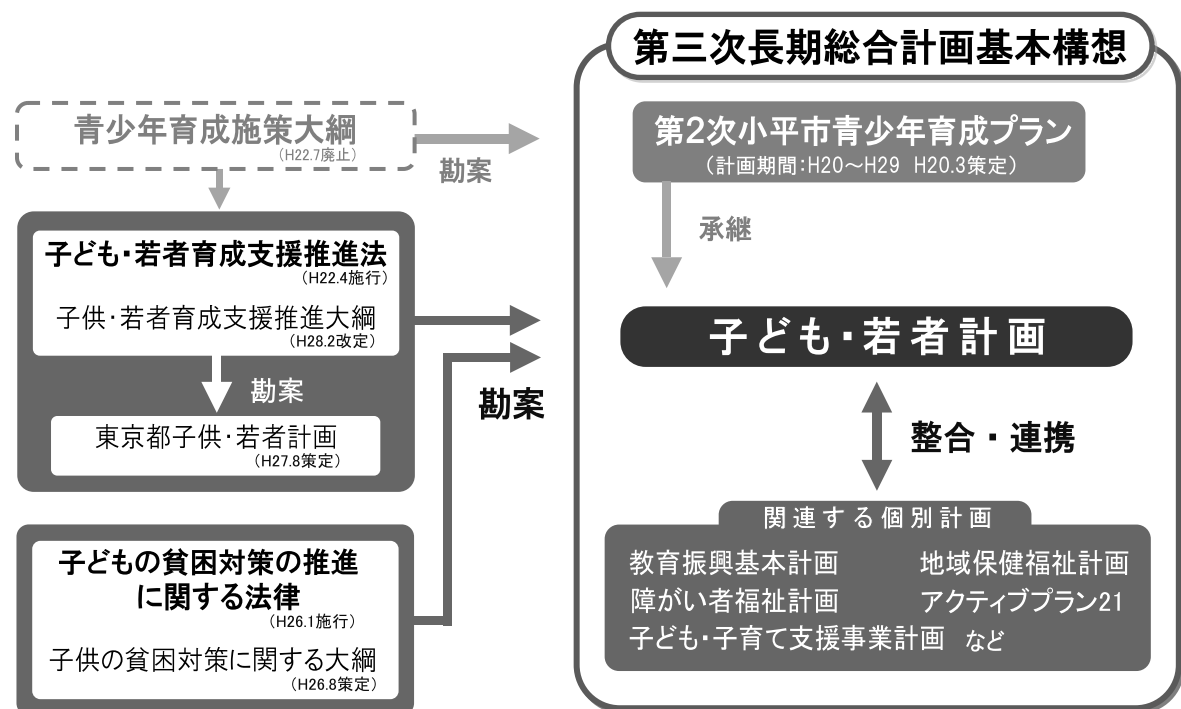
### 2 計画の位置づけ

本計画は、平成22年4月施行の「子ども・若者育成支援推進法」第9条第2項に基づくとともに、「小平市第三次長期総合計画基本構想」に基づいた青少年育成部門の計画である「第2次小平市青少年育成プラン」を引き継ぐ計画として策定するものです。

また、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」及び「子どもの貧困対策の推進に関する大綱」を勘案し、子どもの貧困対策としても位置付けます。

さらに、本計画は、「小平市教育振興基本計画」、「小平市地域保健福祉計画」、「小平市障がい者福祉計画」、「小平アクティブプラン21」、「小平市子ども・子育て支援事業計画」などの関連する計画との整合を図り、相互に十分な連携を図りながら計画を推進していきます。

#### ■ 計画の関連図



#### 子ども・若者育成支援推進法第9条第2項

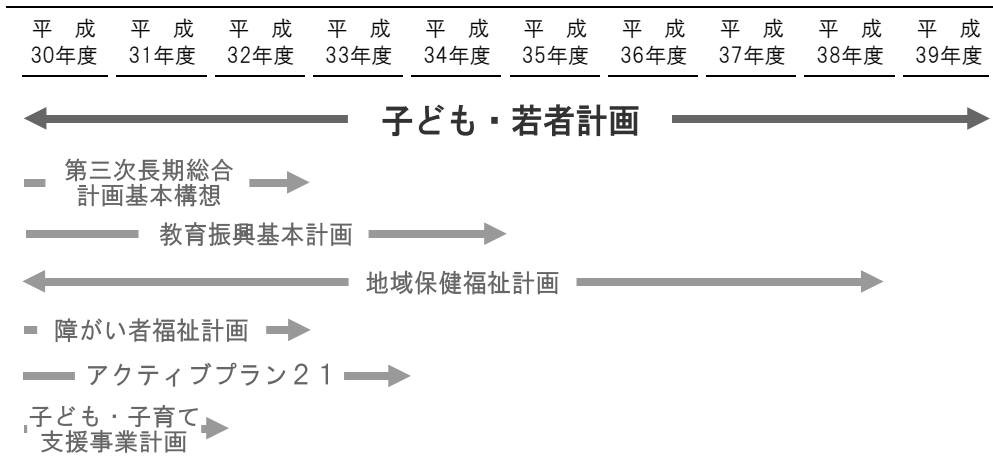
市町村は、子ども・若者育成支援推進大綱（都道府県子ども・若者計画が作成されているときは、子ども・若者育成支援推進大綱及び都道府県子ども・若者計画）を勘案して、当該市町村の区域内における子ども・若者育成支援についての計画(市町村子ども・若者計画)を作成するよう努めるものとする。

### 3 計画の期間

本計画の期間は、平成30年度から平成39年度の10年間とします。

今後、新たな課題や環境の変化に対応できるよう、柔軟性をもって関連施策を進めるとともに、社会・経済状況の変化や国の動向を勘案しながら必要が生じた場合には、計画期間内での見直しを行うことがあります。

#### ■ 計画の期間



### 4 計画の対象

これまでの計画（第2次小平市青少年育成プラン）では、主に6歳から18歳（0歳から24歳を視野）を対象としていましたが、「子供・若者育成支援推進大綱」を踏まえ、0歳から30歳未満まで、施策によって40歳未満までとします。

また、乳幼児期から学童期（0歳から12歳まで）までは、「小平市子ども・子育て支援事業計画」の対象であることから、特に思春期（12歳以上（中学生））から青年期（30歳未満）までの子ども・若者を主な対象とします。

なお、同法に基づき、従前の「青少年」に代えて「子ども・若者」という言葉を使用し、各種法令や施策の内容によっては「青少年」「少年」等の言葉を併用します。

#### 用 語

子供：乳幼児期、学童期及び思春期の者。

若者：思春期、青年期の者。施策によっては、40歳未満までのポスト青年期の者も対象とする。

青少年：乳幼児期から青年期までの者。

※乳幼児期は、義務教育年齢に達するまでの者。

※学童期は、小学生の者。

※思春期は、中学生からおおむね18歳までの者。

※青年期は、おおむね18歳からおおむね30歳未満までの者。

※ポスト青年期は、青年期を過ぎ、大学等において社会の各分野を支え、発展させていく資質・能力を養う努力を続けている者や円滑な社会生活を営む上で困難を有する、40歳未満の者。